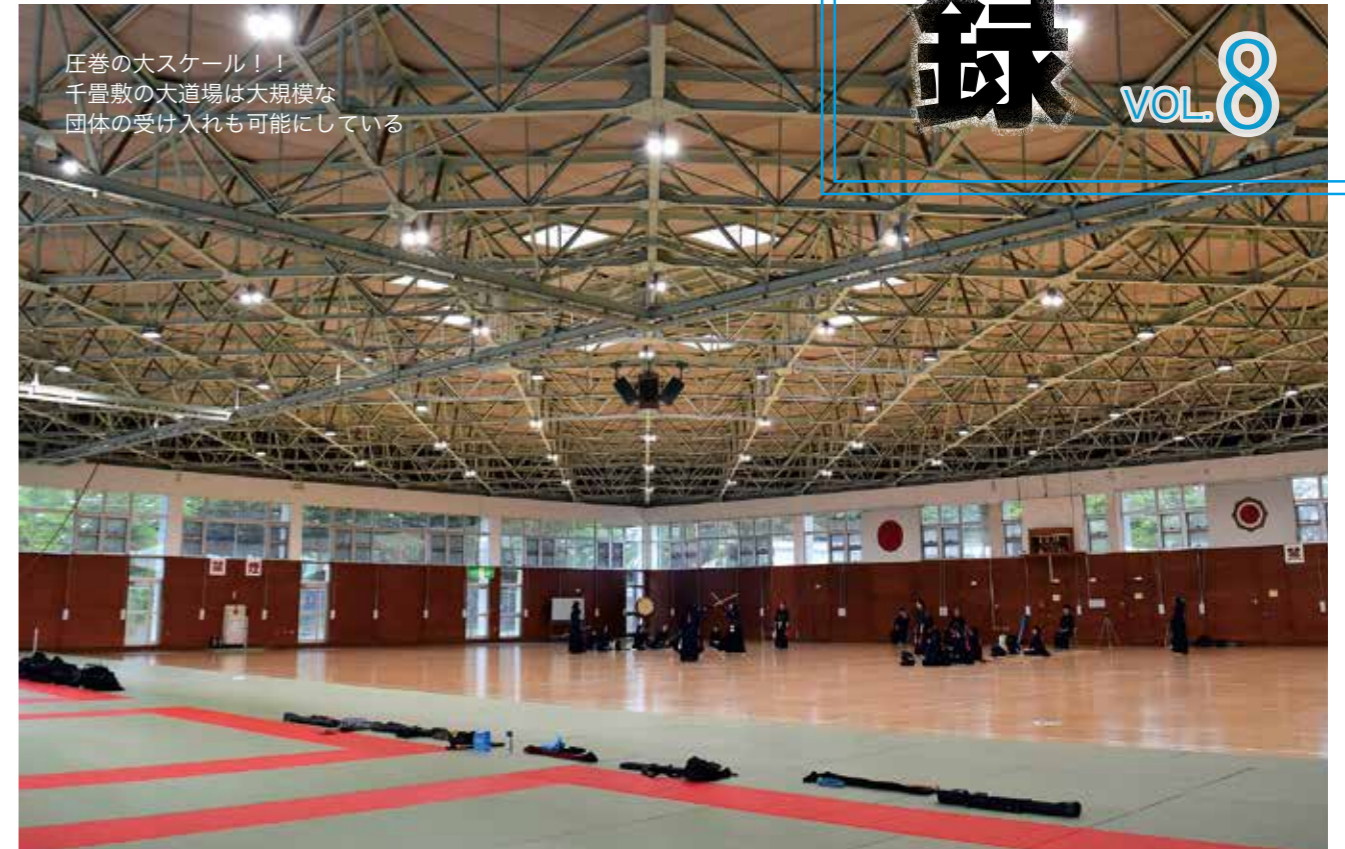


# 企業見聞録 VOL.8

今年の3月に  
のべ宿泊者数100万人を達成した  
日本武道館研修センター。  
日本のトップ選手たちをはじめ、  
多くの人々に支持される理由とは？



円巻の大スケール!!!  
千畳敷の大道場は大規模な  
団体の受け入れも可能にしている

## 日本の代表選手が活用する武道施設

勝浦市役所から道を挟んだところにある公益財団法人日本武道館 日本武道館研修センター（以下研修センター）。その存在は知っていても、施設の中に入ったことのある人は意外に少ないのではないだろうか。

この日、研修センターにお邪魔すると、ちょうど剣道合宿の真っ最中だった。「ヤアー！」という気迫に満ちた掛け声は、思わず私の背筋をシャンとさせる。さらに、迫力あるのは剣道だけではなく、その道場のスケール感である。管理室室長の端春彦さんは「ここは千畳敷の大道場です。40メートル×40メートルあります」と教えてくれた。

研修センターは、東京の九段にある日本武道館が直営する施設で、主に指導者研修会、強化合宿などに使われている。柔道の金メダリスト、井上康生氏（現日本代表男子監督）をはじめ、ここで稽古したオリンピック選手、全日本代表選手には枚挙にいとまがない。また、小学生から大学までの合宿で、研修センターは一年中にぎわっているそうだ。「道場と宿泊施設が近接しているところが貴重」と、同じ敷地内に武道場と宿泊施設があるのは極めて珍しく、利用者に重宝されている。また、すぐ近くにある国際武道大学（以下武道大学）は「研修センターで身体を調整して、海外の大会へ向けて渡航する選手も」という。施設面、立地面に恵まれた環境が、トップ選手たちに支持されているのである。一方、近隣中学校、南総地区、武道大学の学生たちにとっても練習や試合の場として欠くことのできない施設となっているとのこと。実は研修セン



東京の九段にある日本武道館

ターの勝浦誘致は、当時の市長、山口吉暉氏をはじめとした関係者の熱意により実現の運びとなり、この実績が国際武道大学誘致成功に大きく寄与した歴史もあるとのことだ。

## 研修センターの多様な活動

トップ選手に武道大学生たちにと、積極的に活用されている研修センター。だが、施設の活用のされ方はそれだけではない。開催30回目を迎えた「国際武道文化セミナー」では、外国人の受け入れを積極的にしている。「在日で武道に取り組んでいる外国人、100名強の人が集います。外国人は柔道なら柔道だけというのではなく、複数の武道を行っていることが多いので、研修センターのような施設が重宝されます。うちに宿泊して武道大学に稽古に行ったりもしますよ」と話す端さん。ここでも武道大学との連携は欠かせない。また、1971年に開校した「武道学園」は子どもたち向けに柔道や剣道、空手道、合気道、書道を教える教室で、気軽に武道と触れ合える機会となっている。加えて、中学校武道必修化に伴い、日本武道館では、教員向けの指導書制作、研究の場となるなど様々な形で武道の精神、魅力を伝える活動を行なっている。

「今後は大道場等の空調改善構想など、サービス、設備面を向上させていくとともに、武道大学・武道学園など武道を通しての交流で、武道のまち勝浦としての役割を果たしていきたいですね」と、これから語る端さん。今後の展開を期待したい。



1) 写真の食堂のほか、屋外にはバーベキュー施設も完備。観光目的でも利用可能だ 2) 相撲道場。土俵は直径4m55cm。週2回水をまくなどし、ベストコンディションを維持している 3) 弓道場で練習中の国際武道大学弓道部の学生たち 4・5) 道場に隣接する宿泊棟の各宿泊部屋 6) 武道館研修センターの建物は船をイメージして作られた 7) 中学校教員向けに作成した武道の指導書

## 【公益財団法人日本武道館 日本武道館研修センター】

**所在地** 勝浦市沢倉 582  
**設立** 日本武道館の唯一の分館として、1971年に開館。  
 2018年3月に宿泊者数100万人を達成した  
**職員** 9名（うち国際武道大学卒は3名）  
**主な事業内容** 千畳敷の大道場をはじめ、弓道場、相撲道場、研修室、食堂、宿泊施設を備える。武道大会、合宿での利用のほか、一般利用も行う ※**武道学園生徒募集** 中～地元の青少年を対象に柔道・剣道・空手道・合気道・書道を学べる教室を実施中。詳しくはwebサイト参照  
 ☎ 0470-73-2111 <http://www.nipponbudokan.or.jp>

